

令和6年度事業計画

内閣府の令和5年版高齢社会白書によると、我が国は、諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進んでおり、総人口に占める65歳以上の人口割合（高齢化率）は、令和4年10月1日現在29.0%で、過去最高となっています。

今後、ますます高齢化の進展が見込まれるなか、高年齢者雇用安定法に基づいて設立されたシルバー人材センターに対する国民の期待は高く、センターを通じた就業は、高年齢者にとって、現役職業生活引退後に充実した生活を実現するための有力な選択肢であるとともに、地域社会の活性化、医療費や介護給付費の削減にも大きく寄与しているところです。

半田市シルバー人材センターは、昭和56年10月1日に設立し、令和6年には43年目を迎えます。発足当時189人だった会員数は、令和5年度末現在、555人となっています。

当センターは、令和2年4月に「半田市シルバー人材センター第1次中期計画（令和2年度～6年度）」を策定し、会員数の拡大や就業機会の開拓等に取り組んでまいりました。しかし、令和2年から3年以上続いたコロナ禍では様々な社会活動が制限され、特に感染した場合の重篤化リスクが高いとされている高齢者にあっては外出等を控える動きが顕著で、そのことが会員の退会や入会の敬遠、就業意欲の減退等シルバー事業の停滞を招く結果となりました。

しかし、令和5年5月には新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行し、感染対策は個人の判断に委ねられることになり、人が多く集まるイベント等も通常開催されるようになってきました。こうした中でシルバー事業も日常を取り戻してまいりました。

令和6年度は、半田市シルバー人材センター第1次中期計画の最終年になります。計画にも示されている事業を一日も早くコロナ禍前の水準に回復させ、成長軌道に乗せていくことが重要です。

アフターコロナにあって、令和6年度のシルバー事業をどう進めていくか、次に示す基本施策に、積極的に取り組んでまいります。

1 基本施策

- (1) 会員数の拡大（就業機会の確保と創出）
- (2) 会員のキャリアアップ支援
- (3) 安全・適正就業の推進
- (4) 自主事業の活性化（喫茶「楽」・シルバー農園）
- (5) 運営体制の充実

2 事業の実施内容

- (1) 会員数の拡大（就業機会の確保と創出）

シルバー人材センターは、地域の高齢者の働く機会を組織的に確保すると同時に、高齢者が長年培った知識経験を生かし、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、地域社会の活性化に繋げるものです。当センターの会員数は平成14年度の668人をピークに減少傾向に転じ、令和5年度末の会員数は555人となりました。この主な要因は、雇用機会の確保措置が65歳まで延長されたことに加え、入会したものの希望する就業が少ないことや、高齢・病気を理由に退会する人が多くなってきたことなどによるものです。以上のことを踏まえ、令和6年度は次の取組により会員数の拡大に努めます。

※令和6年度目標：会員数570人

※具体的取組：

- ①愛シ連及び半田市など行政機関との連携推進
- ②会員からの事業提案等による新規事業の創出
- ③市報、センター関係書類、新聞折込みなどを使った会員募集、及び、高齢者の集まりや企業での入会の働きかけ

(2) 会員のキャリアアップ支援

働く意欲と能力を持った会員が自主的に組織参加し、その力を発揮することにより、豊かで積極的な高齢期の生活と生きがいの充実が図られます。就業にあたって必要となる知識や技術の習得はもちろんのこと、発注者の期待に継続的に応えていけるように会員のキャリアアップを支援します。

※令和6年度目標：専門講習の実施

※具体的取組：家事援助、保育補助、剪定、草刈に関する講習の実施

(3) 安全・適正就業の推進

令和6年2月末現在の事故件数は、賠償事故4件、傷害事故2件、交通事故0件の合計6件でした。令和4年の合計15件（賠償事故12件、傷害事故3件、交通事故0件）からは減少しましたが、安全はすべてに優先するものであり、事故件数はゼロにしなければなりません。安全就業が第一であることの啓発を続け、徹底を図ります。

※令和6年度目標：事故件数ゼロ件

※具体的取組：

- ①安全に関する講習会の実施と安全パトロールの強化
- ②会員目線による安全意識向上のための仕組みの創設
- ③感染症予防、夏季作業における熱中症や蜂刺され対策など健康管理の啓発

(4) 自主事業の活性化（喫茶「楽」・シルバー農園）

喫茶「楽」は、感染症対策の緩和による利用者の増加を期待していましたが、お弁当

の受注減や山車まつりに伴うアイプラザの臨時休館などにより、令和5年度は来客数、売上ともに大きく減少しました（2月末現在：来客数5,648人、売上4,332,617円）。また、就業会員も減ったため、残った会員の連続出勤が増えるなど厳しい営業状況が続いています。しかし、お昼の定食はお客様から大変な好評を得ており、会員のやりがいになっています。

※令和6年度目標：来客数7,000人（4年度実績7,908人）

※具体的取組：①他センターの視察と検証（営業方法、メニュー等）
②就業者確保のための広報及び声掛けの継続実施

シルバー農園は、土壌づくりが順調に進んでおり、収穫量・収穫種ともに増加しています。喫茶「楽」との連携も進んでおり、外部販売ルートも現在3か所を確保しています。天候やマン・パワーに左右されることの多い農園事業ですが、令和6年度も試行錯誤を繰り返しながら、安定した野菜の提供に努め、収益増に繋げていきます。

※令和6年度目標：売上80,000円（令和4年度実績：71,952円）

※具体的取組：①土壌改良、用水確保などの環境整備
②就労者確保のための広報及び声掛けの継続実施

（5）運営体制の充実

雇用機会の確保措置が65歳まで延長されたことで60歳以降も従前の会社で働き続ける方が増えており、国の施策が会員数減少の要因のひとつになっています。

一方で、高齢社会への対応とともに、経済活動の活性化に伴う事務费率や配分金の検証や、フリーランス法への対応など、公益法人としてのシルバー人材センターの事務量はますます増加するとともに高度化・複雑化しています。

これらの課題に対し、効果的・効率的に事業を運営していくため、半田市シルバー人材センター第2次中期計画を策定します。

※令和6年度目標：半田市シルバー人材センター第2次中期計画の策定

※具体的取組：①フリーランス法への対応（会員と発注者の利便性向上）
②財源確保に向けた補助金、配分金、会費、事務費の検証
③事務所の移転検討